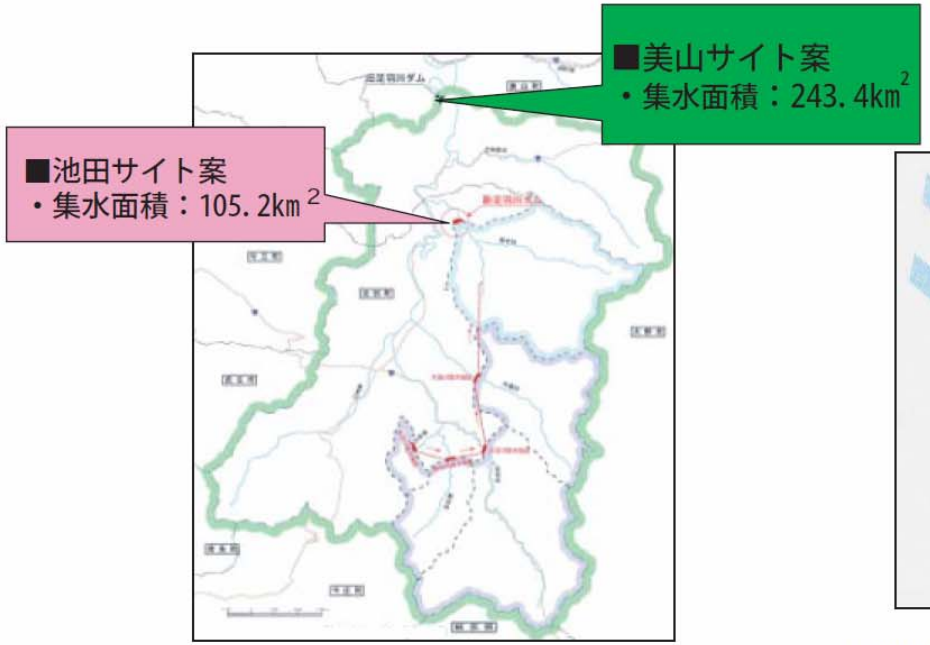
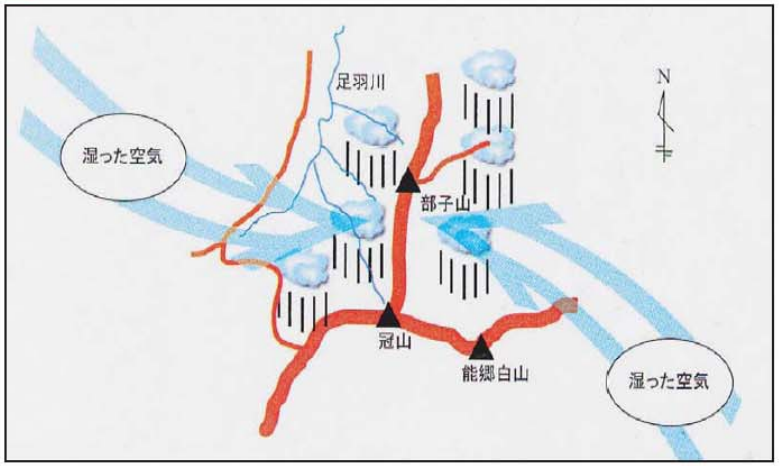
Q13. 足羽川ダムは、美山サイトから池田サイトに変更されたため、集水面積が半分程度に小さくなっているが、降雨の状況に左右され洪水に対し効果が発揮できないのではありませんか。

A13. 美山サイトと池田サイトにそれぞれダムを作った場合の、過去の主要な洪水での天神橋地点における洪水調節効果を比較した結果、どちらでも所定の洪水調節効果を上げることができます。
足羽川の流域特性として、足羽川の東側の部子山、冠山の西側の斜面に降雨が集中する傾向があり池田サイトはこの特性を十分踏まえたものとなっています。



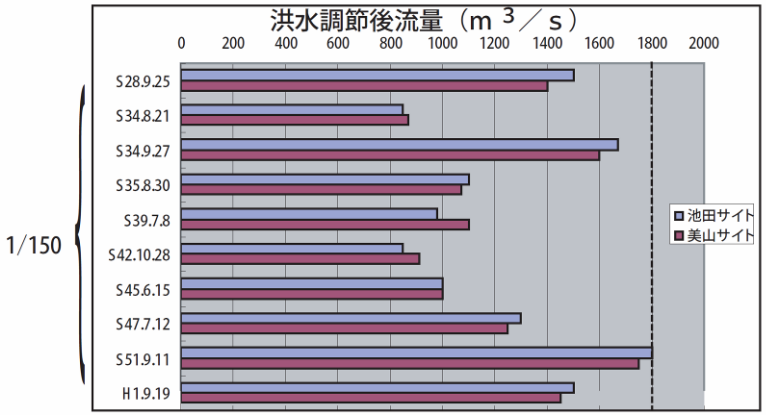
◇足羽川流域の降雨特性



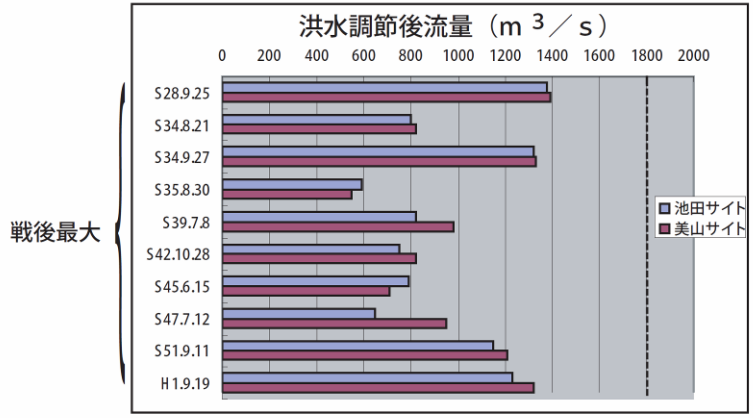
・足羽川流域は東部の部子山・冠山を結ぶ稜線、南部の能郷白山・冠山を結ぶ稜線、西部は比較的低い稜線に囲まれた地形となっている。
・過去の主要な洪水を生じさせた降雨を見ると、部子山・冠山の稜線に沿った降雨となっている。

◇洪水調節効果（天神橋地点）

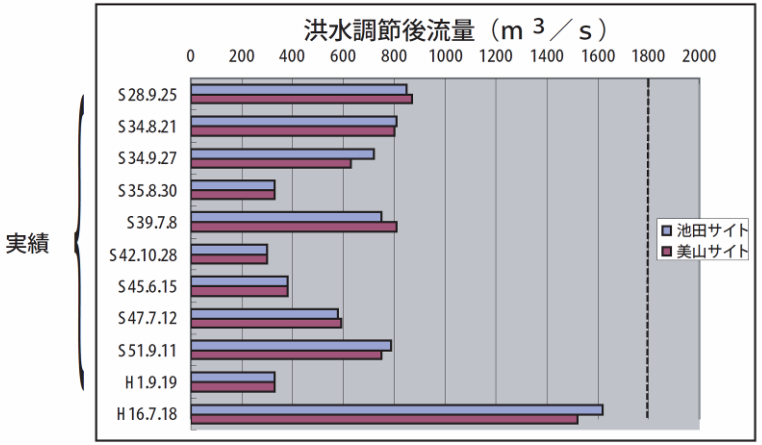
池田サイト・美山サイトどちらの場合でも、天神橋地点の流量を1,800m³/s以下に調節できており所定の洪水調節効果を発揮しています。



河川整備基本方針規模（1/150）



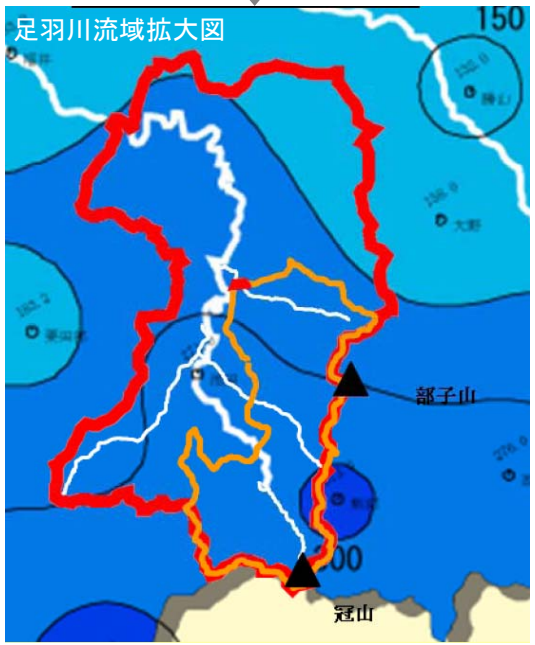
戦後最大（河川整備計画検討洪水規模・1/80）



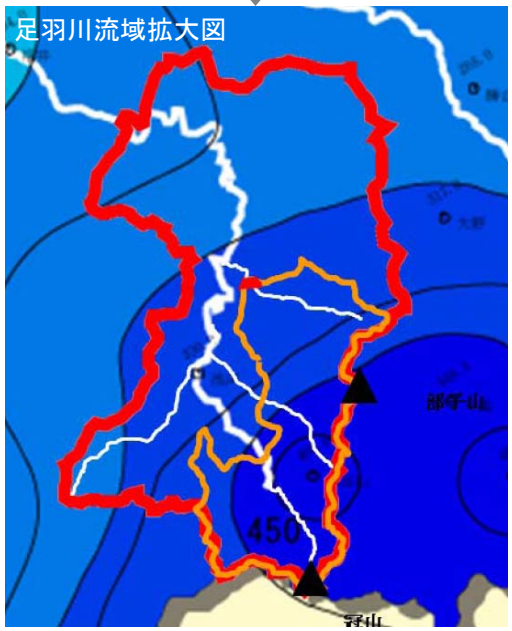
実績洪水

＊足羽川ダムはダム＋4川導水完成後の効果

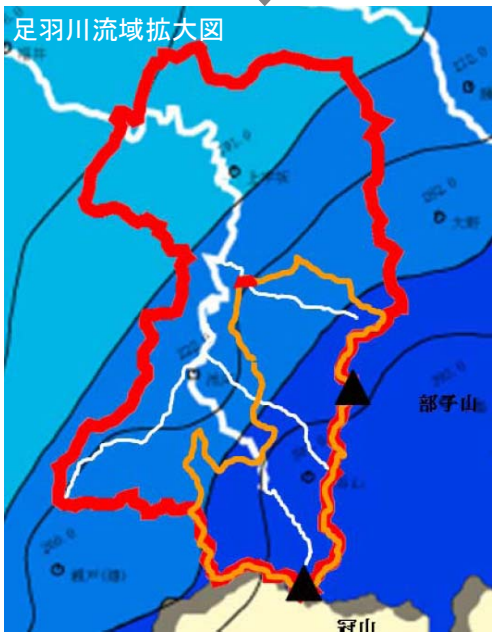
◆S28.9洪水



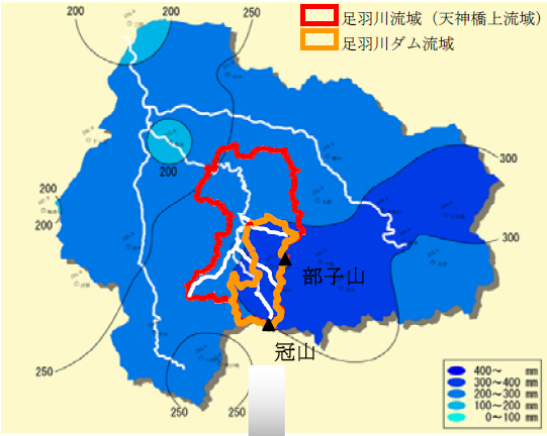
◆S34.8洪水

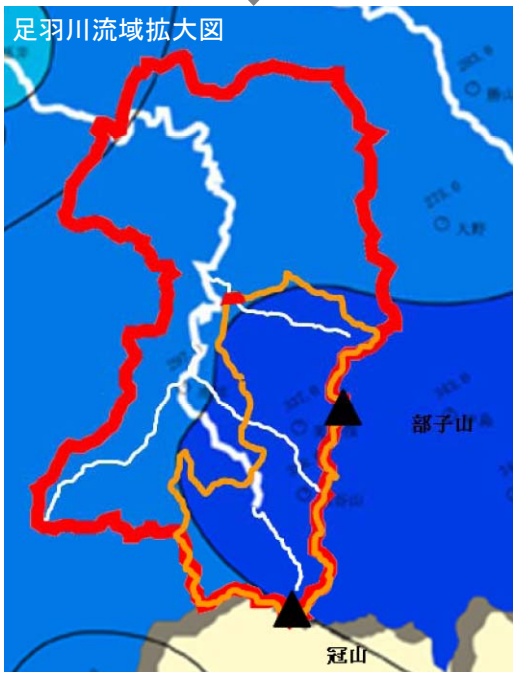


◆S36.9洪水（第2室戸台風）

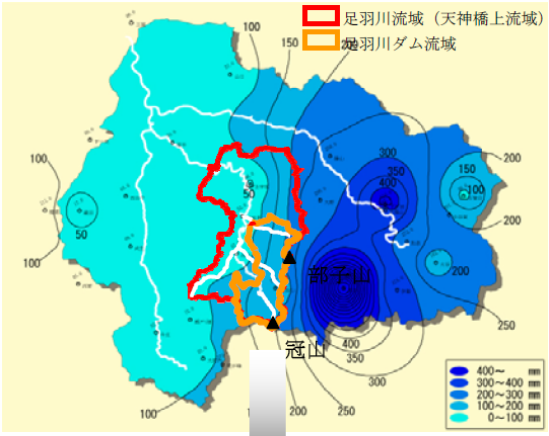


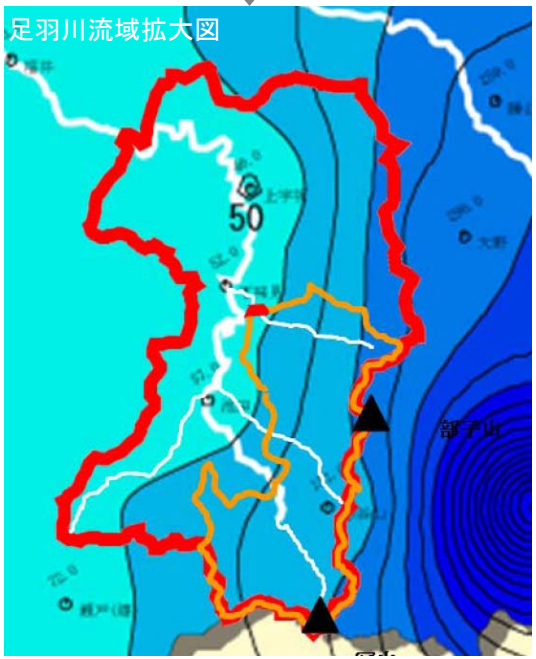
◆S39.7洪水



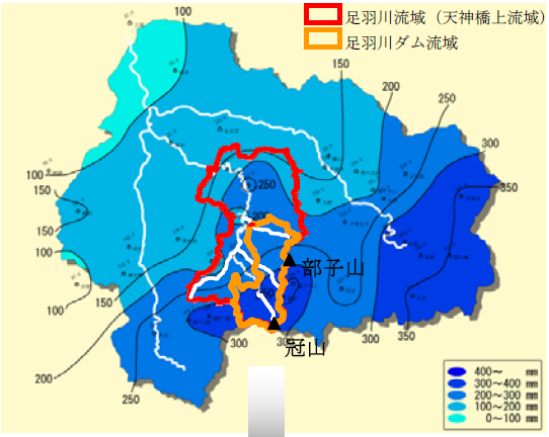


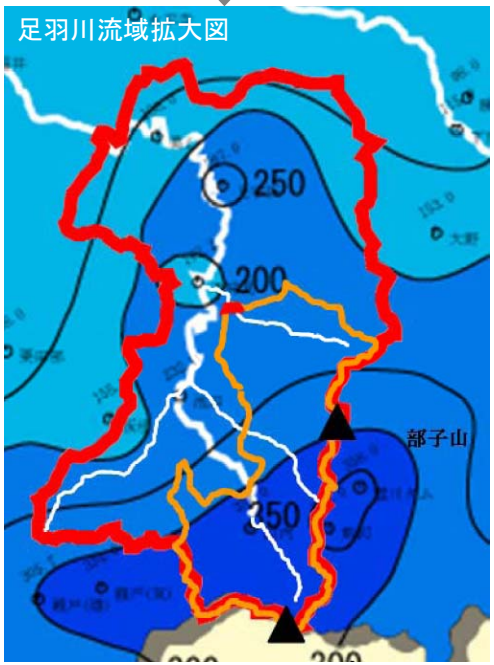
◆S40.9洪水（奥越豪雨）



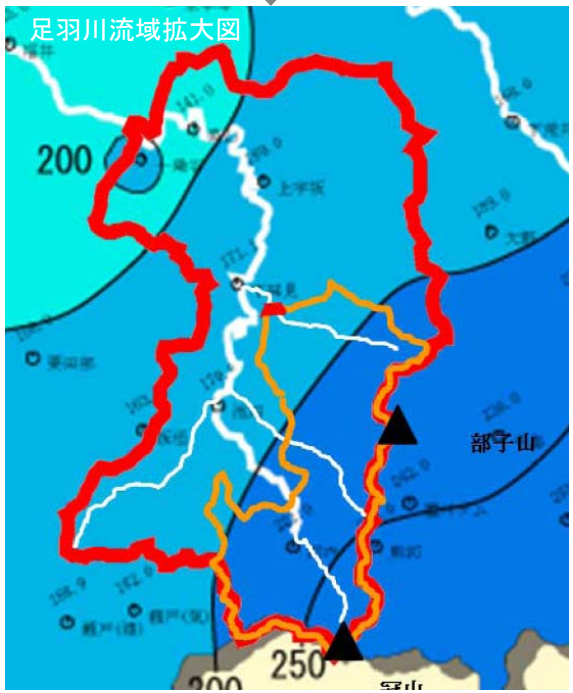
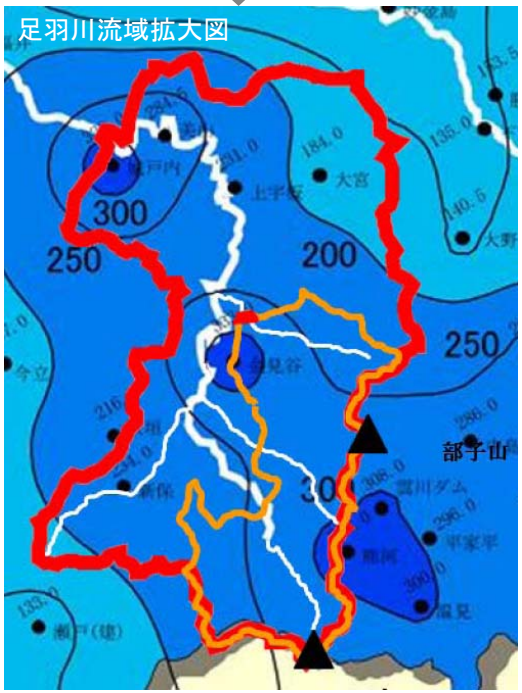


◆S50.8洪水





◆S51.9洪水



◆H16.7洪水（福井豪雨）